

## 令和7年度 御所市共同募金委員会 赤い羽根共同募金 助成事業 申請～交付のてびき

### はじめに

共同募金助成金は、御所市民の皆さまの善意にもとづく寄付を財源としています。その活用にあたっては、寄付者の理解が得られるよう助成事業を実施してください。

また、助成事業の完了報告をする際には、経理を明確にするとともに、帳簿ならびに証拠書類を整備し、御所市共同募金会（以下、本会）が使途調査を行う場合、帳簿等を提出し、説明ができるようにしてください。

### 赤い羽根共同募金助成事業について

本会の助成につきましては、本会「御所市共同募金委員会助成要綱（一般公募）」を基に行い、また奈良県共同募金会「共同募金助成要綱」に準じています。要綱はこの手引きに同封しておりますので、申請前に必ずご一読願います。  
※上記要綱は、御所市社会福祉協議会ホームページならびに奈良県共同募金会ホームページにもそれぞれ掲載しております。

#### 1. 助成目的

共同募金は助成を通じ、地域の課題解決を図るとともに、社会の新しい課題を発見し、問題解決の方法を探り、解決を担う活動主体の発見・育成や活動主体間のパートナーシップや活動への住民参加を促進することで、地域に暮らす人々がともに助けあい、安心して生活を送れるような地域社会づくりに寄与するものです。

本会では、御所市民の皆さまから寄せられた善意の募金を社会福祉法の理念に則り、地域福祉の向上に資することを目的に適正・公平に助成を行います。

#### 2. 助成対象団体

- ①御所市内に拠点を置き、福祉活動をしている施設・団体
- ②住民の福祉向上のために活動する施設・団体（少なくとも1年以上の活動実績がある施設・団体）

### 3. 助成対象事業

地域福祉の推進に寄与し、募金された方々に理解してもらえるもので以下に該当しない事業。

- ①地方公共団体が経営しまたはその責に属するとみなされる事業
- ②社会福祉を目的としていても、政治、宗教等の手段として行う事業、又は構成員の相互共済を主たる目的とする事業
- ③営利を目的とする事業
- ④助成の効果がないと認められる事業

また、奈良県共同募金会「助成要綱」においては、下記の欠格事項が記載されています。

- ・病院等医療機関が実施する事業
- ・介護保険等財源措置が制度化されている社会福祉事業 等

※令和8年度以降、本会の要綱においても上記項目を追加し、改定を行う予定ですが、今年度の施設助成においては、経過措置として「地域住民が参加する事業」（例：施設利用者だけでなく地域住民も参加するお祭り等のイベント）であれば助成対象とします。

### 4. 助成金額

#### ＜団体助成＞

御所市共同募金委員会が決定した助成金額の範囲内とします。

#### ＜施設助成＞

今年度より公募制とします。助成金額は1施設につき10万円を上限とし、助成総額は45万円とします。ただし、助成総額を上回る申請があった場合、審査委員会において審査を行います。審査にあたっては、奈良県共同募金会の審査基準に準拠し、助成を優先する事業により助成施設を決定しますので、審査の結果助成対象外となる場合があります。あらかじめご了承ください。

### 5. 交付申請

助成金を申請される施設・団体は、申請期間内に申請書を提出ください。

**申請期間：7月22日（火）～8月8日（金）**

※申請書ならびに本会要綱は、御所市社会福祉協議会ホームページよりダウンロードできます。また、本会窓口でも配布します。

### 6. 審査と助成決定

8月下旬ごろ開催予定の審査委員会において、助成の可否を決定します。その後、決定通知書により9月上旬ごろに各団体へ通知いたします。

### 7. 実績報告

- ①事業終了後、すみやかに実績報告書等をご提出ください。

**提出締切：2月27日（金）**

提出書類：実績報告書、領収書やレシートの写し、事業実施の様子がわかる写真、助成金請求書

- ②助成金交付後、3月31日（火）までにありがとうメッセージをご提出ください。
  - ③実績報告書等は、御所市社会福祉協議会ホームページよりダウンロードできます。
  - ④3月中旬ごろ開催の審査委員会にて実績を確認後、3月下旬ごろに助成金を交付予定です。
- ※実績報告書の内容により、当会助成要綱第10条に該当する場合には、審査委員会において助成金の取り消しもしくは減額を行うことがあります。

## 8. 助成金の取り消し又は返還

以下に該当したときは、助成の取り消しまたはその全部もしくは一部を返還いただきます。

- ①助成金にかかる経理が不明確であるとき
- ②助成決定後、事業を停止または休止したとき
- ③助成金を指定した事業以外に使用したとき
- ④虚偽の助成申請または実績報告がされたとき
- ⑤審査委員会の指示に従わなかったとき

## 9. 助成の明示

事業を実施する際には、共同募金を財源にした事業であることをチラシ等に明示ください（例：「本事業は赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています」等）。また、物品を購入した場合には赤い羽根共同募金シール（本会にて配布いたします）を貼付ください。

## 10. 助成事業の中止・変更をする場合

何らかの理由で事業が実施できない場合、計画していた事業内容を変更する場合、助成金額を減額する場合は、本会までご相談ください。必要に応じて書類をご提出いただきます。

## 11. 赤い羽根共同募金活動への参加

助成事業は、戸別募金や街頭募金、法人募金など、御所市民の皆さまのご協力で集まった寄付金で行うことができます。赤い羽根共同募金運動についてご理解いただき、募金活動へのご協力もよろしくお願いいたします。

## 12. 今後の助成について

令和8年度以降、中央共同募金会「共同募金ハンドブック」、「共同募金助成方針」、奈良県共同募金会「共同募金助成要綱」を基に本会の助成要綱を改定予定です。

地域で活躍されている草の根団体の活動を掘り起こしていくために、「先駆的な活動への積極的な助成」「同じ事業への助成期間を限定する（地域福祉課題解決のために継続が必要な事業等には例外要件を設ける）」「公募制」等の内容を盛り込んだ要綱に改定していく予定です。

詳細は来年度の助成案内の際にご説明いたしますが、上記の流れをご理解いただき、来年度以降の事業のご検討をお願いいたします。

## 助成の流れ

